

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

特別  
八四  
3117  
5

其廿參

四乙

正倉院御寶物入日記  
寛文六年三月

東大寺藥師院文書



門八  
號3117  
卷5

寛文六年三月

方四  
妙舟之內



正倉院御寶物入日記



豆稻田大學圖書館  
25.4.19  
購入未

正倉院御寶物入日記

才三

南御倉

以 長持 そヶ内

一御鞍鑑 四口分

乃 長持 そヶ内

一唐銅絆 杂百四拾貳

一唐銅透絆 三ヶ

は 長持 そヶ内

一座銅椀 七具

一座銅杓 貳百貳拾

一厚綱皿

三ヶ

一匙子

七拾八

ニ 長持

毛内

一厚綱脚黒

九拾具

一厚綱錦

拾九

ほ 長拘

毛内

一脚鏡

大小  
貳拾七面

ハ 長拘

毛内

一碁盤

内一面家有  
石武百五十二

三面

一石盤

貳ヶ

一琵琶

本ノマ、  
何損ヤ

二面

ハ 長拘 毛内

一蘿種 元華ト書付有

ち 長持 毛内

一舟 有

一毛禮

赤白紫

拾五枚

奴 長持 毛内

一幕繩

赤白

綃切方

弓 長持

毛内

瓔珞吹玉 アリ

を 長持 三ヶ内

一花鳥幡之道具 有

オニ わ 長持 三ヶ内

一書臺

三ヶ

一唐ノ箱 此内二小箱

三ヶ

一孫子

三ヶ

一脚鏡

三ヶ

一刷柳

三ヶ

か 長持 三ヶ内 何者

オニ よ 長持 三ヶ内

一石盤

三ヶ

一革飾

三ヶ

一琵琶

三ヶ

一鳳凰金物

三ヶ

一塙硝

三ヶ

一白毛禮

五足

一金紫綢花入

三ヶ

一御脇息

三ヶ

た 長持 三内

一 真輸簾穗 戴拾六本

一丁子

一箱

一藥種 色々

一箱

一硯

一双盤

一面

一冠桶

一面

一籠柳

一面

一唐ノ小箱

一面

一唐之ケサン

内一サ子  
内一ルリ  
内一タ子色

三ヶ

一 長持 モケ内

一蓮華座

二ヶ

一 天蓋

二ヶ

一 鍔石之鉢

モケ

一 藥種

花付有  
軸書付有

一 桜 長持 モケ内

一 法皇脚筆 軸書付有

三管

一脚杖

貳本

一御尺八

壹管

一御弓

壹張

一御手

二ヶ

如意

二ヶ

一御下鞘

一ヶ

一匁占御茶椀

一ヶ

一番答

一ヶ

一葉種

一ヶ

一籠柳

一ヶ

一墜桔桶

一ヶ

一鈴

一ヶ

一御鏡家

内モツニ  
蓋モツク

七ヶ

一蒙牙笛

一管

一柄香呂

一ヶ

一革瓶

一面

一琵琶

一面

な 長持

壹角内十二モ  
ナカニモツク

ら 長持

壹角内

一赤白毛禮

五枚

む 長持 をケ内

二 手占錫并鉢 をケ

一 御 菌蓐道具 もと有

う 長持 をケ内

一 御 寄懸 二ヶ

一 紗幕

唐箱 金紋有

をケ

カ 長持 をケ内

一 毛籠 故有

拾三枚

方の 長持 をケ内

一 銀

一 御經軸 を箱

五色之唐箆

十九卷

方三 杣 長持 をケ内

一人參 有文

く 長持 をケ内

一 鈴

一 箱

〇 や 長持 をケ内

一 瑪瑙石

一 箱

方三 ま 長持 をケ内

一 御 太刀

貳拾振

天蠻琴

壹張

炳香呂

壹介

一笛

壹介

一尺八

壹介

石節

壹介

水晶之御珠數

壹連

如意

壹介

一琴

壹張

琵琶

壹面

第  
三  
以  
長持

壹介

一簫

壹介

一脚杖

壹介

一下緒

壹介

一脚杖

壹介

一臺

燒物

壹介

一明箱

壹介

長持

壹介

一腳鞍鈕

壹介

一涯障

壹介

一馬絹

壹介

二掛

二口

三

二 長持 そヶ内

一箱 此内小道具 そヶ内

一下鞘 そヶ内

江 長持 そヶ内

一箒 そヶ内

一両方釦 そヶ内

一箱 三ヶ そヶ内

あ 長持 そヶ内

一脚鞍 二口 そヶ内

一轡 そヶ内

一馬銷 腹アテタ 貰ツ そヶ内

一箱 さ 長持 そヶ内

一水瓶 一柄香呂 そヶ内

一金ノ鉢 但唐銅丸 そヶ内

一三鉛 そヶ内

一鉛 そヶ内

一通々小道具

一水瓶 そヶ内

メ 長持 モケ内

一象牙

モト

一革馬道具

十ヶ

一脚経筆墨云

モウ

但御筆軸拾手奉 御墨八挺内  
折墨或挺力ケセツ

私云此脚経トア内ニ御道具目録由來  
之書物一巻有勅ナトミテ書寫タニ  
アキドモナクナアリ此一巻ヲシハ御  
宝物悉知申由日野大納言殿内ト重テ  
御宝物か時必先此櫃ヲシテ目録  
二三校合可有乞

一金輪

モト

一脚鏡

モト

め長持

モケ内

一脚鞍

二口

一佛之大座

モケ

一唐

一口

一鐘

一掛

一耳草

六本

一弓箭

内サンコレニケ

五ヶ

一象牙尺八

モケ

一肉桂

モ袋

一如石藥

四ヶ

一臺 燒物

四ヶ

し 長持 モケ内

モケ

一臺 燒物

モケ

一琵琶袋 唐織

モケ

一櫃 之蓋

モケ

一藥種

モケ

一唐布

モケ

一絹切色々有

一絹切色々有

才三  
ひ 長持 モケ内

一黒墜之酒器 刺ケ

一小箱 四ヶ

一唐紙 刺毛

も 長持 刺ケ内

一腳衣之道具色々有

せ 長持 モケ内

一席枕 モケ

一蓆 モケ

モケ

一御手巾掛

壹ヶ

一香箱

壹ヶ

引長持

壹ヶ内

一御金物

板佛ヲカナ物ニ  
鑄付テ有之モケ

一箋

壹ヶ

一御琵琶

壹ヶ面

一太刀 内鑓三節

四拾貳振

一長持

壹ヶ内

一紅沉 惣長三尺半寸切次経取或尺  
四寸二分太ニ指波毛尺八分杏  
指波九寸毛分小切三寸内一ツ  
ニテタ惣重目四貫六百目

二長持 オケ内

一麻角 但十六股

壹ヶ

一紫壇

私云壹半力

二半

一唐木

二半

一御弓

但人秋盈力  
私云四尺

壹張

一下緒

但啄木

二箋

一黄焚香

蘭奢待惣重目三貫三百五拾同  
惣長五尽寸一分末股三寸八分切闊  
三尺毛寸毛分内ウツノトコロ

私云右兩種、香今度ソト家出来  
折者以心得フ注連ヲナワセ彼フト  
家ノ上ニ注連ヲ引ニ重テモ又新レク  
注連ヲナワセ可引ニ兩種ノ御出ノ

翁ハ必三縕大佛師小縕六堂行烈  
翁ハ必三縕大佛師小縕六堂行烈

シテ其跡ニ兩種セし。櫨ノリハ寺僧  
可然に兩人ツク脚沓出入六堂ノ  
一轄ヲテツタイニシテ三總出入ヲ  
イタス候勅使上使ミテ士余公更ニ  
サハル事モ不取也

一脚幣 有 小サキ紙ノ脚幣ニ

四 長持 矢ヶ内  
一シヤボン 有々

六 長持 矢ヶ内  
二ケ

一銀臺 同鉢  
二ケ  
モケ

七 長持 矢ヶ内  
九ヶ

一石盤

八 長持 矢ヶ内  
モケ

一銀鍋

釣アリ

同鉢

大鏡

仁 長持 矢ヶ内

右者福勝院盜取唐銅破鉢也有之

寺中同錄六南御倉下壇又二階仕分

以ゆ此仕分知り易故仰其内ニ

勝ル、御道具ト有ル二階、上サセ  
又劣ト存ルカハ下ノ壇、立セテシ人勿編

二種シ御香二階シ真中三階シ

ハジノソハニヨリノ甚ワニゆノ

字ノ合文櫈モヨリノ假

物三

中御倉

四 長持 立ケ内

一矢籠矢井根オ 三拾二

一不知翁 二ツ

十三 長持 立ケ内

一箇 二ヶ

一玉帯

一玉幡 二ツ

一水瓶

立掛

此外小道具色々有

初

四 長持 立ケ内

一原舟

立ケ

一五色玉

百五拾斗

色々綿糸小刀等其有

卒二 長持 モケ内

一琴、腹板

モケ

一クサリタキ銷切立

第三  
上十九 長持 モケ内

一御鏡

モケ面

一銀鉢

三ツ

一銀砂鉢并臺 四ツ

三足鉢

三ツ

都合十六色

平  
下十九 長持 モケ内

一御鏡

太小八ツ

圭二 長持 モケ内

一御衣類色二有

五 長持 モケ内

初日  
一鴨毛屏風但片長持  
上直有之一双

四 長持 モケ内

一矢根共二

六五 長持 モケ内

一火鉢

土物

二ヶ

女一 長持 モケ内

一百繪毛禮

八枚

三十 長持

毛ヶ内

一唐銅梳

皿共二

百七十七

一唐銅ノサレ

貳百六十七

⑥ 長持

毛ヶ内

一藥種

有

東風 長持

毛ヶ内

一師弓

一張

一琴

有

毛ヶ内

毛 長持

毛ヶ内

一葉種

サツ  
三通五

⑦ 長持

毛ヶ内

一面

十一

一板佛

二枚

一繪毛禮

拾毛枚

北御倉

長持毛内 一面

十五

日毛内 一面

六師子取毛内

日毛内 一面

廿三

同 矢内 一师子頭或馬面 矢

同 矢内 一面 女六

同 矢内 一面 十三師子頭 矢

私云 右面之分少御倉<sup>ニ</sup>之小御

倉御道具數多雖乃<sup>ニ</sup>或損  
或損<sup>モ</sup>ナキ物故校合<sup>シ</sup>之其上

中之御倉今迄<sup>シテ</sup>ノ<sup>ニ</sup>損<sup>モ</sup>ナキ

物モ少ノ御倉納<sup>シ</sup>

北之御倉内若御衣之類等之小  
道具<sup>ニ</sup>有之此度雖被成御用封

御道具一<sup>ニ</sup>不被及校合也北中  
御倉、勅封南、御倉、當寺  
別當之封被附是任先例  
如斯

一些外面獅子頭等雖有數多  
或者破損或細道具故委  
不註之

一中御倉下之壇屏風百餘双  
并鉢等雖有數多是亦

一<sup>ニ</sup>不及註之

私云 屏風鉢中御倉下壇書

如切々二階の事

寛文六午三月四日御用封

同七日御用戸

勅使日野權右少守資茂  
驗使川口源兵衛重正  
奉行土屋忠次良勝重  
出世後見四聖坊英性  
三綱所正法院實宣

證明 勝滿院實秀  
地藏院淨虔

右正倉院御寶物入目記一冊者  
法眼實宣以筆跡令書受取

丁時元禄六午四月日

執行藥師院都維那祐想



